徳島新聞　2023年8月21日付

BMX女子フリースタイル・パーク

世界選手権で予選敗退　内藤寧々

五輪出場へ奮闘誓う

P-034-1

世界の壁は厚かった。自転車BMX世界選手権のフリースタイル・パーク女子で内藤寧々（第一学院高）は予選16位で、上位12人による決勝進出を逃した。来年のパリ五輪出場を目指す17歳のホープは「もう少しレベルを上げられたらよかった」と、力不足を痛感したようだ。

直前の練習で転倒した後方宙返りのバックフリップは決めたものの、別の大技で自転車ごと横に1回転半する「540」は繰り出せなかった。雨のために出番が1日延期となるアクシデントもあり「ずっと待って、緊張して疲れてしまった」と不完全燃焼に終わった。

神奈川県茅ケ崎市出身。小学4年の時に近くの公園で競技の様子を目にし「自転車で回ったり跳んだりするのが、すごく不思議で格好いい」と魅力に取りつかれた。15歳で出場した2021年の全日本選手権で初優勝し、頭角を現した。

通信制高校で学びながら、練習は地元を中心に都内や静岡県まで出向く。ワールドカップ（W杯）などで海外を転戦する生活は負担が重く「体調を崩すことが多い」。ハードスケジュールに追われ、新技習得のための練習時間の捻出が課題だ。

パリ五輪の出場枠は12と狭き門。内藤が突破を決めるには、来年3～6月に行われる予選シリーズでの好成績が求められる。「周りのライダーも緊張感が出てきている。ついていきたい」と必死で食らいつくつもりだ。

自転車BMX世界選手権のフリースタイル・パーク女子予選で試技をする内藤＝6日、グラスゴー（共同）